



活動報告

2007（平成19）年度

教員の研究活動 2007年1～12月



大学校長

[著書]

- 田村やよひ(2007). 看護サービス提供システムの現状と課題. 中西睦子編, 看護サービス管理(第3版). 121-132, 医学書院, 東京.
- 田村やよひ(2007). 看護行政のしくみ. 中西睦子編, 看護サービス管理(第3版). 143-149, 医学書院, 東京.
- 田村やよひ(2007). 看護教育に関する政策. 井部俊子, 中西睦子監修, 看護制度・政策論. 120-128, 日本看護協会出版会, 東京.
- 田村やよひ(2007). 近年の保健師助産師看護師法の改正. 井部俊子, 中西睦子監修, 看護制度・政策論. 129-133, 日本看護協会出版会, 東京.
- 田村やよひ(2007). 保健医療分野の情報化推進に関する政策. 井部俊子, 中西睦子監修, 看護制度・政策論. 134-138, 日本看護協会出版会, 東京.

[講演・学会発表]

- 坂口力, 田村やよひ(2007). 時代の変革者からの提言—医療制度における看護の役割拡大. 第12回日本看護サミットおおさか'07, 大阪, 9月.

人間科学(情報学)

[著書]

- 柏木公一(2007). 病院情報システム. 中西睦子監修, 看護管理学. 173-180, 建帛社, 東京.

[論文]

- 山勢博彰, 伊東美佐江, 黒田裕子, 岡崎寿美子, 城戸滋里, 中山栄純, 本戸史子, 林みよ子, 脇坂浩, 中木高夫, 柏木公一, 小田正枝, 相良かおる, 棚橋泰之(2007). 電子カルテシステムの有用性に関する臨床看護師の認識. 看護診断, 12(1), 27-34.
- Conrick, M., Wright, G., Radenovic, A., Hovenga, E., Cho, I., & Kashiwagi, K. (2007). Healthcare in the year 2020 - practice and policy. *Studies in Health Technology and Informatics*, 128, 47-54.

[講演・学会発表]

- Kashiwagi, K., Kashiwagi, M., Kamitsuru, S., & Okaya, K. (2007). *Developing an online search system for ICNP concepts in Japan*. The International Council of Nurses, 2007 International Conference and CNR, Yokohama, Japan.
- Ito, M., Yamase, H., Kuroda, Y., Okazaki, S., Kido, S., Nakayama, E., Hondo, F., Hayashi, M., Wakisaka, H., Nakaki, T., Kashiwagi, K., Oda, M., Sagara, K., & Tanahashi, Y. (2007). *Japanese nurses' perspectives of electronic health record systems*. The International Council of Nurses, 2007 International Conference and CNR, Yokohama, Japan.
- Kashiwagi, K., & Kashiwagi, M. (2007). *Developing an automated mapping algorithm for the ICNP in Japanese*. Medinfo 2007, Brisbane, Australia.
- 柏木公一(2007). 医薬品安全性情報の伝達とSNOMED-CT. 第27回医療情報学連合大会, 神戸.
- 柏木公一(2007). ISO/TC215 WG3 これまでの軌跡. 第27回医療情報学連合大会, 神戸.
- 柏木公一, 黒田裕子, 伊東美佐江, 山勢博彰, 岡崎寿美子, 城戸滋里, 中山栄純, 本戸史子, 林みよ子, 脇坂浩, 中木高夫, 小田正枝, 相良かおる, 棚橋泰之(2007). 電子カルテシステムにおける看護計画サブシステムの問題点—看護師のインタビューから. 第27回医療情報学連合大会, 神戸.
- 柏木公一(2007). ICTを活用した看護イノベーション. 第8回日本看護系学会協議会シンポジウム, 東京.

[研究助成]

- 柏木公一(2007). 電子カルテから有害事象を検出するためのオントロジー構築とその評価. 平成19年度文部科学研究費補助金.
- 岡田美保子, 横井英人, 小出大介, 柏木公一, 武隈良治, 土屋文人(2007). 国際化を踏まえた医薬品・医療機器の安全性情報の伝達に関する研究. 平成19年度厚生労働省科学研究費補助金(医薬品・医療機器レギュラトリーサイエンス総合研究事業).

[その他]

柏木公一(2007). 看護のこと, もっと知りたい! Today's Focus 知っているようで知らない電子カルテ Q&A. クリニカルスタディ, 28(7), 603-607.

人間科学(語学)

[論文]

Matsuoka, R. (2007). Examining caring theories in nursing from non-nursing viewpoints. *The Journal of Nursing Studies, National College of Nursing, Japan*, 6(1), 43-51.

Evans, D. (2007). Important features of academic research papers in English. *The Journal of Nursing Studies, National College of Nursing, Japan*, 6(1), 61-68.

[講演・学会発表]

Matsuoka, R. (2007). *Communication apprehension and L2 willingness to communicate among Japanese college student*. 2007 Conference of International Society of Language Studies. Honolulu, Hawaii, USA, April.

Matsuoka, R. (2007). *Willingness to communicate in English among Japanese college student*. 2007 Conference of the American Association of Applied Linguistics. Costa Mesa, California, USA, April.

Matsuoka, R. (2007). *Communication apprehension and L2 willingness to communicate*. Pan-SIG conference. Sendai, Japan, May.

Matsuoka, R., & Smith, I. (2007). *Communication apprehension and willingness to communicate in the second language among Japanese college students*. The 5th Asia TEFL International Conference. Kuala Lumpur, June.

Matsuoka, R. (2007). *Age effects on second language communication*. Mini-Conference of Pan-SIG. Tokyo, Japan, June.

Matsuoka, R. (2007). *Communication apprehension and L2 willingness to communicate*. The 33rd JACT International Conference. Yoyogi, Tokyo, November.

Matsuoka, R., & Smith, I. (2007). *Communication apprehension and willingness to communicate*. The 12th International Conference of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics. Pattaya, Thailand, December.

[その他]

Matsuoka, R., & Smith, I. (2007). Communication apprehension and willingness to communicate in the second language among Japanese college students. *The 5th Asia TEFL proceedings*. (CD-version).

人間科学(保健行政学)

[著書]

森山幹夫(2007). 法律と倫理. 日本染色体遺伝子検査学会, 染色体遺伝子検査の分かりやすい説明ガイドライン. 135-139, 日本染色体遺伝子検査学会, 東京.

[論文]

森山幹夫(2007). 看護職員の給与水準の変遷とその背景についての考察. 国立看護大学校研究紀要, 6(1), 69-75.

森山幹夫(2007). 激動の時代こそ高齢者の生も充実. 保育界, 398, 26-27.

森山幹夫(2007). 助産と看護の飛躍のために「看護の将来を展望する」. ペリネイタルケア, 26(9), 70-71.

[講演・学会発表]

森山幹夫(2007). 利用者主役の保健・医療・福祉の展開. 法務省法務総合研修所, 東京, 5月.

森山幹夫(2007). 重症心身障害児病棟における療養介助員制度導入の影響. 日本重症心身障害学会, 高知, 9月.

森山幹夫(2007). 利用者主役と安全な医療のために. 日本染色体遺伝子検査学会総会, 東京, 11月.

森山幹夫(2007). 安全な医療の提供のための行政の動き. 厚生労働省四国厚生支局, 高松, 12月.

森山幹夫(2007). 医療再編・介護制度改革と日本のケアシステムの展開. 千葉大学大学院ワークショップ, 千葉, 12月.

基礎看護学(基礎看護学)

[論文]

小澤三枝子, 水野正之, 佐藤エキ子, 高屋尚子, 正木治恵, 廣瀬千也子, 竹尾恵子(2007). 新人看護職員研修の推進に関する研究. 国立看護大学校研究紀要, 6(1), 3-9.

萱場桃子, 小澤三枝子(2007). 児の入院に伴う母親の生活行動における変化と困り具合に関する研究. 日本看護研究学会雑誌, 30(5), 53-60.

[研究報告]

竹尾恵子, 小澤三枝子, 佐藤エキ子, 高屋尚子, 廣瀬千也子, 正木治恵, 水野正之(2007). 新人看護職員研修の推進に関する研究 平成 18 年度総括・分担研究報告書. 厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業, 1-63.

竹尾恵子, 小澤三枝子, 佐藤エキ子, 高屋尚子, 廣瀬千也子, 正木治恵, 水野正之(2007). 新人看護職員研修の推進に関する研究 平成 16, 17, 18 年度総合研究報告書. 厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業, 1-13.

[講演・学会発表]

竹尾恵子(主任研究者), 小澤三枝子, 佐藤エキ子, 廣瀬千也子, 正木治恵, 高屋尚子, 水野正之(2007). 新人看護職員研修の推進に関する研究. 平成 18 年度厚生労働省医療安全・医療技術評価総合研究事業研究成果発表会, 11-19.

萱場桃子, 小澤三枝子(2007). 入院児の母親の体調・疲労感に影響する因子に関する研究. 第 27 回日本看護科学学会学術集会, 263.

萱場桃子, 小澤三枝子(2007). 入院児の母親の面会スタイル選択に関する研究. 第 27 回日本看護科学学会学術集会, 262.

基礎看護学(看護基礎科学)

[研究報告]

森那美子(2007). 看護師の生物災害に対する準備性および教育に関する研究. 平成 18 年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))研究成果報告書.

[研究助成]

森那美子(2007). 看護師の生物災害に対する準備性および教育に関する研究. 平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B)).

[講演・学会発表]

森那美子(2007). 看護師の生物災害に対する準備性に関する検討. 第 81 回日本感染症学会総会学術集会後抄録(Ⅱ), 612.

[その他]

宮崎久義(主任研究員), 工藤宏一郎, 加藤はる, 中村浩幸, 大久保憲, 河野文夫, 切替照雄, 西岡みどり, 吉田真由美, 菊地秀, 菊池喜博, 三木祐, 菊池ひで子, 土屋了介, 平出朝子, 平松玉江, 太田嘉城, 八木哲也, 鈴木奈緒子, 前川裕子, 藤崎浩太郎, 小林信一, 島田知子, 菅原美絵, 三浦祥子, 川名明彦, 加藤康幸, 篠原有香, 森那美子(研究協力)(2007). 医療機関における感染症伝播に関する研究. 平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.

基礎看護学(基礎看護援助学)

[著書]

松山友子(2007). 4. 活動・休息援助技術. 川島みどり, 井部俊子, 山西文子, 市川幾恵編, 今日の看護指針 臨床実践能力の向上をめざして. 175-182, 看護の科学社, 東京.

松山友子(2007). 5. 清潔・衣生活援助技術. 川島みどり, 井部俊子, 山西文子, 市川幾恵編, 今日の看護指針 臨床実践能力の向上をめざして. 183-189, 看護の科学社, 東京.

吉満祥子(2007). 2. 食事援助技術. 川島みどり, 井部俊子, 山西文子, 市川幾恵編, 今日の看護指針 臨床実践能力の向上をめざして. 160-166, 看護の科学社, 東京.

[講演・学会発表]

松山友子(2007). 臨床教員による実習指導の実際と成果. 国立病院看護研究学会誌, 3(1), 84-87.

穴沢小百合, 松山友子, 吉満祥子(2007). 点滴静脈注射中の寝衣交換に関する課題を実施した学生の体験内容—滴下可能な作成教材を使用して. 日本看護研究学会雑誌, 30(3), 214.

[その他]

松山友子(2007). 看護技術フォーラム 1 よりよい指導に向けてあなたの“?”にお答えします. 月刊ナーシング, 27(2), 52-53.

松山友子(2007). 看護技術フォーラム 2 よりよい指導に向けてあなたの“?”にお答えします. 月刊ナーシング, 27(3), 68-69.

松山友子(2007). 4. 活動・休息援助技術. 今日の看護指針 事例解説編 その 3. 看護実践の科学, 32(3), 17-20.

松山友子(2007). 5. 清潔・衣生活援助技術. 今日の看護指針 事例解説編 その 3. 看護実践の科学, 32(3), 21-23.

吉満祥子(2007). 2. 食事援助技術. 今日の看護指針 事例解説編 その 3. 看護実践の科学, 32(3), 9-12.

穴沢小百合, 松山友子, 吉満祥子(2007). 「点滴静脈注射を受けている患者のトイレ歩行援助」の演習の工夫—教材“ドリッ君”の開発. 看護教育, 48(6), 508-513.

基礎看護学(看護教育学)

[著書]

Kameoka, T., Funashima, N., & Sugimori, M. (2007). If goals are attained, satisfaction will occur in nurse-patient interaction: An empirical test. In C.L. Sieloff, & M.A. Frey (Eds.), *Middle range theory development using King's conceptual system*. 261-272, New York: Springer Publishing Company.

[論文]

中原博美, 亀岡智美 (2007). 看護学教育機関と保健医療機関を併任する看護職者に関する研究の動向. 国立看護大学校研究紀要, 6(1), 10-17.

[研究報告]

舟島なをみ, 杉森みどり, 野本百合子, 大室律子, 野口美和子, 佐藤禮子, 太田節子, 亀岡智美, 松田安弘, 三浦弘恵, 中山登志子, 横山京子, 永野光子 (2007). 看護継続教育支援システムの開発. 平成 15 ~ 18 年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書.

[講演・学会発表]

- 亀岡智美, 舟島なをみ, 野本百合子, 村上みち子 (2007). FD の企画運営に携わる看護学教員が直面している活動上の問題. 日本看護研究学会雑誌, 30(3), 112.
- 山澄直美, 亀岡智美, 舟島なをみ (2007). 看護学教員対象の看護継続教育に関する研究の動向—国内文献の分析を通じた FD のための課題検討. 日本看護研究学会雑誌, 30(3), 110.
- 亀岡智美 (2007). 授業への理論・研究成果の活用—科学的根拠に基づき実践する看護職者の育成に向けて. 第 19 回日本看護学校協議会学会集録, 25.
- 山澄直美, 亀岡智美, 舟島なをみ (2007). 看護学教員対象の継続教育に関する海外の研究内容の分析—FD のための課題検討に向けて. 第 27 回日本看護科学学会学術集会講演集, 322.
- Kameoka, T., Miyashiba, T., Funashima, N., Sugimori, M., Miura, H., & Yokoyama, K. (2007). *Quality of teaching behaviors of nursing faculty in nursing skills laboratories in Japan*. 18th International Nursing Research Congress Focused on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International, Vienna, Austria, July.
- Nakayama, T., Kameoka, T., Funashima, N., Hongo K., Hiroe, M., Yamashita, N., & Sugimori, M. (2007). *Quality of clinical teaching behaviors of nursing faculty in BSN and ADN programs in Japan: A secondary analysis*. 39th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International, Baltimore, Maryland, U.S.A.
- Kameoka, T., Nakayama, T., Funashima, N., Hongo, K., Miura, H., Yamashita, N., Gorzka, A.P., & Sugimori, M. (2007). *Development of instruments for cross-cultural research on role model behaviors of nursing faculty in the United States and Japan*. 39th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International, Baltimore, Maryland, U.S.A.
- Gorzka, A.P., Funashima, N., Hongo, K., Kameoka, T., Miura, H., Yamashita, N., Nakayama, T., & Sugimori, M. (2007). *Current status of role model behaviors of nursing faculty in the United States*. 39th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International, Baltimore, Maryland, U.S.A.
- Miura, H., Funashima, N., Hongo, K., Kameoka, T., Yamashita, N., Nakayama, T., Gorzka, P.A., & Sugimori, M. (2007). *Current status of role model behaviors of nursing faculty in BSN programs in Japan*. 39th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International, Baltimore, Maryland, U.S.A.
- Hongo, K., Funashima, N., Hongo, K., Kameoka, T., Miura, H., Yamashita, N., Nakayama, T., Gorzka, P.A., & Sugimori, M. (2007). *Comparison of role model behaviors of nursing faculty in the United States and Japan*. 39th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International, Baltimore, Maryland, U.S.A.

基礎看護学(看護管理学)

[研究助成]

西岡みどり (2007). 病院施設の規模別の感染対策の実態調査(分担研究), 医療機関における感染症伝播に関する研究(主任研究者 宮崎久義). 平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金による新興・再興感染症研究事業.

成人看護学 I (急性期)

[論文]

- 谷昭子, 堤隆子, 国安紀恵, 石井智香子, 稲垣順子(2007). 上部消化管内視鏡検査を受ける患者への背部マッサージの効果. 第 37 回日本看護学会論文集(成人看護Ⅱ), 165-167.
- 野上祐子, 三好幸子, 弘中英子, 石合綾子, 東美幸, 石井智香子, 稲垣順子(2007). 在宅で暮らしている終末期肺がん患者の妻の体験. 第 37 回日本看護学会論文集(成人看護Ⅱ), 98-100.
- 河村敦子, 山田恵美子, 長尾佳子, 上田真理子, 石井智香子, 稲垣順子(2007). 脳血管疾患患者家族が患者の自宅退院を意思決定する過程における体験—現象学的アプローチによる聴くという介入を試みて. 第 37 回日本看護学会論文集(地域看護), 74-76.

[研究報告]

- 石井智香子, 松村美保子, 水野正之, 遠藤晶子(2007). 慢性心不全患者の心理的問題に対する看護介入プログラム開発のための基礎的研究. 平成 18 年度政策医療振興財団研究助成研究報告書.

[講演・学会発表]

- 瀧典子, 浅野友美, 三好茂奈, 石井智香子, 稲垣順子(2007). 糖尿病性腎症で透析導入期にある患者の体験. 第 38 回日本看護学会抄録集(成人看護Ⅱ).
- 河田美絵子, 植田奈々, 稲垣順子, 石井智香子(2007). 糖尿病性腎症で透析をしている患者の配偶者の体験. 第 38 回日本看護学会抄録集(成人看護Ⅱ).
- 石井智香子(2007). 組織としての教育力を高める—国立病院機構としての看護教育再考. 専任臨床教員の配置とその結果. 第 61 回国立病院総合医学会講演抄録集, 258.
- 松村美保子, 水野正之, 石井智香子(2007). 外来通院中の慢性心不全患者の不安・抑うつの実態とその関連因子に関する研究. 第 27 回日本看護科学学会学術集会講演集, 244.
- 角森亮介, 石井智香子(2007). 荷物運搬法の違いが心拍数, 血圧, 酸素消費量におよぼす影響. 第 27 回日本看護科学学会学術集会講演集, 246.

成人看護学 II (慢性期)

[著書]

- 飯野京子(2007). がんと発がんの生物学. Itano, J. K., & Taoka, K. N. / 小島操子, 佐藤禮子監訳, がん看護コアカリキュラム, 353-371, 医学書院, 東京.
- 飯田正子, 射場典子, 角田直枝, 小西敏子他(2007). 循環の変化(心膜液貯留 がん治療に関連した心血管毒性). Itano, J. K., & Taoka, K. N. / 小島操子, 佐藤禮子監訳, がん看護コアカリキュラム, 294-298, 医学書院, 東京.

[講演・学会発表]

- 上原ます子, 田村恵子, 丸口ミサエ, 佐藤恵子(2007). 退院後がん患者のサポートプログラムに対するニーズ. 第 22 回日本がん看護学会学術集会, 東京, 2 月.
- 福室真理子, 石嶋みやこ, 小西敏子, 中野絹子, 太布和子, 高橋滝子(2007). がん患者の治療法選択における患者が受けたと認識する看護の実態と看護師に期待する役割. 第 21 回日本がん看護学会学術集会講演集, 148.

成育看護学(小児看護学)

[論文]

- 石井京子, 藤原千恵子, 河上智香, 西村明子, 新家一輝, 仁尾かおり他(2007). 患者のレジリエンスを引き出す看護者の支援とその支援に与する要因分析. 日本看護研究学会雑誌, 30(2), 21-29.
- 小村三千代, 仁尾かおり, 平良七恵, 駒松仁子(2007). 「小児救急医療を受ける子どもと家族の看護」に関する教育実践—成育看護実習における学生の学び. 国立看護大学校研究紀要, 6(1), 52-60.

[講演・学会発表]

- 仁尾かおり, 藤原千恵子(2007). 先天性心疾患をもつ中学生・高校生の病気認知の構造. 日本小児看護学会第 17 回学術集会講演集, 122.
- 仁尾かおり, 藤原千恵子(2007). 先天性心疾患をもつ中学生・高校生の背景要因による病気認知の差異. 日本小児看護学会第 17 回学術集会講演集, 123.

平良七恵, 仁尾かおり(2007). ダウン症とともに成長する人の日常生活における自立に対する親の認識. 第38回日本看護学会抄録集(看護総合), 176.

仁尾かおり, 平良七恵(2007). ダウン症とともに成長する人の社会生活における自立に対する親の認識. 第38回日本看護学会抄録集(看護総合), 177.

仁尾かおり, 平良七恵(2007). ダウン症をもつ思春期の子どもの自立に向けた親の関わり. 家族看護学研究, 13(2), 121.

西山麻衣, 仁尾かおり(2007). コルネリア・デ・ランゲ症候群をもつ子どもの親が望む看護師の態度・言葉・援助. 第38回日本看護学会抄録集(小児看護), 85.

仁尾かおり(2007). 先天性心疾患をもつ中学生・高校生のSOC, レジリエンス—背景要因による差異. 第27回日本看護科学学会学術集会講演集, 386.

仁尾かおり(2007). 先天性心疾患をもつ中学生・高校生のSOC, レジリエンス—病気認知による差異. 第27回日本看護科学学会学術集会講演集, 387.

[その他]

駒松仁子(2007). 成育医療. 日本小児看護学会編, 小児看護学事典. 466-467, へるす出版, 東京.

駒松仁子(2007). 養育態度. 日本小児看護学会編, 小児看護学事典. 830-832, へるす出版, 東京.

仁尾かおり(2007). 看護師国家試験・直前対策 107 小児看護学. クリニカルスタディ, 28(13), 103-108.

成育看護学(母性看護学)

[論文]

山下暢子, 舟島なをみ, 中山登志子, 吉富美佐江(2007). 実習目標達成を導く教授活動の構造—「看護学実習教授活動理論」の開発に向けた仮説の導出. 看護教育学研究, 16(1), 29-37.

[研究報告]

中山登志子(研究分担者)(2007). 看護継続教育支援システムの開発(研究代表者: 舟島なをみ). 平成15～18年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書.

[講演・学会発表]

佐々木和子, 中田かおり, 小松契, 鈴木佳奈子, 伊藤愛子(2007). 助産師教育における基礎・母性看護技術の学内演習の必要性—看護学士課程における実践報告. 第21回日本助産学会学術集会, 大分, 3月.

佐々木和子, 中田かおり, 鈴木佳奈子, 細野公子(2007). 生殖・不妊看護の在り方について—不妊看護の臨地実習を経験した学生へのグループインタビュー結果から. 第38回日本看護学会(看護総合), 沖縄, 7月.

中田かおり, 佐々木和子, 鈴木佳奈子, 細野公子(2007). 周産期医療施設における不妊治療・看護に対する患者のニーズを考える. 第48回日本母性衛生学会, つくば, 10月.

鈴木佳奈子, 佐々木和子, 中田かおり, 細野公子(2007). 大規模周産期施設における不妊看護の現状と課題—不妊患者に関わる看護職へのグループインタビューを通して. 第38回日本看護学会(看護管理), 和歌山, 10月.

Nakayama, T., Kameoka, T., Funashima, N., Hongo, K., Miura, H., Yamashita, N., & Sugimori, M. (2007). *Quality of clinical teaching behaviors of nursing faculty in BSN and ADN programs in Japan: A secondary analysis*. 39th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing.

Funashima, N., Hongo, K., Kameoka, T., Miura, H., Yamashita, N., Gorzka, P.A., Nakayama, T., & Sugimori, M. (2007). *Cross-cultural research: Role model behaviors of nursing faculty in the United States and Japan, toward enriching faculty development*. 39th Biennial Convention, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing (Symposium).

中山登志子(2007). 学習活動自己評価尺度(看護学実習用)の開発—信頼性・妥当性の検証. 日本看護学教育学会第17回学術集会講演集, 184.

中山登志子, 舟島なをみ, 山下暢子(2007). 看護学実習に取り組む学生の学習活動の質の現状. 第27回日本看護科学学会学術集会講演集, 324.

中田かおり(2007). 周産期医療の患者安全に向けたカナダの多職種協働ケアモデルとその取り組み. 第21回日本助産学会学術集会, 大分, 3月.

中田かおり(2007). 助産ケアの安全を保証するために—北米における医療の安全と質向上に関連する取り組みを通して. 第63回日本助産師学会シンポジウム「助産ケアにおけるリスクマネジメントを考える—海外の安全管理システムの報告を通して」, 東京, 5月.

[その他]

舟島なをみ(リーダー), 中山登志子(メンバー計65名)(2007). 千葉大学21世紀COEプログラム 日本型看護学の創出・国際発信拠点—実践知に基づく看護学の確立と展開. サブプロジェクトFグループ「日本型看護職者キャリア・ディベロップメント支援システムの開発」平成17・18年度報告書.

精神・老年看護学(精神看護学)

[論文]

- 天谷真奈美(2007). 精神保健医療福祉分野における家族支援とエンパワメント. 埼玉県立大学紀要, 8, 23-29.
- 福手綾子, 天谷真奈美, 阿部由香(2007). アルコール依存回復者にとってのグループミーティングルール「言いつばなし聞きっぱなし」のとらえ方. 第37回日本看護学会論文集(地域看護), 45-47.
- 島根さゆり, 川尻廣子, 青木かおる, 染谷ひろみ, 野口禮子, 花田真弓, 外山君江, 秋田幸子, 阿部由香(2007). 夜間救急外来看護師の疲労の種類と経時的変化. 日本看護学会論文集(看護管理), 37, 478-480.
- 阿部由香(2007). 入院を繰り返したのち地域生活を送る統合失調症患者の認識. 日本看護学会論文集(地域看護), 37, 176-178.

[研究報告]

- 天谷真奈美, 鈴木麻揚, 柴田文江, 阿部由香, 小林悟子, 関根正(2007). 精神障害者の社会参加効力感尺度の開発. 平成16～18年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書.

[講演・学会発表]

- 天谷真奈美, 鈴木麻揚, 柴田文江, 阿部由香, 関根正, 小林悟子, 萱場一則(2007). 精神障害者の社会参加効力感尺度の開発と信頼性・妥当性の検討. 第13回日本行動医学会学術総会プログラム集, 38.
- Amagai, M., & Iwasaki, Y. (2007). *The parental experiences in the recovery process of their young men socially withdrawn*. The 13th Annual Qualitative Health Research Conference, Seoul, Korea.
- Suzuki, M., Shibata, F., Amagai, M., & Sakuraba, S. (2007). *Development of a measure for self-efficacy for social participation of persons with mental disabilities (provisional version), and verification of its content validity*. The 13th Annual Qualitative Health Research Conference, Seoul, Korea.
- Amagai, M., & Iwasaki, Y. (2007). *The familial communication characteristics in the recovery process of adult sons who are socially withdrawn*. The 19th World Congress of the World Association for Social Psychiatry, Prague, Czech Republic.
- 阿部由香(2007). 肥満糖尿病患者に認知行動学的アプローチを行なった1事例の考察. 第13回日本行動医学会学術集会抄録集, 56, 越谷.
- 小林久美子, 大谷津香, 増田圭子, 田島美奈子, 吉田美代子, 阿部由香(2007). 血液疾患患者との関わりの中で看護師が抱く不全感緩和を目的とした取り組み—事例検討会開催による検証. 第38回日本看護学会(成人看護Ⅱ)抄録集, 福井.
- 三津山恵子, 古澤典子, 鬼塚希, 古川真理, 春山知子, 千田真子, 篠原美智子, 福田紀代美, 阿部由香(2007). 内科病棟におけるせん妄患者の実態調査. 第38回日本看護学会(看護総合)抄録集, 164, 宜野湾.
- 田中留伊, 森千鶴(2007). 覚せい剤精神病患者に対する新旧クリティカルパスの比較—満足度調査を行って. 日本看護研究学会誌, 30(3), 172.
- 長嶋実佐, 菅谷公明, 畠山優子, 岩崎富子, 平井愼二, 田中留伊(2007). 薬物関連疾患治療専門病棟における看護—薬物への考え方尺度の分析から. 第61回国立病院総合医学会講演抄録集, 370.
- 田中留伊, 森千鶴(2007). 覚せい剤精神病患者に対する自己効力感を高めるプログラムを導入して. 第27回日本看護科学学会学術集会講演集, 278.

[研究助成]

- 天谷真奈美, 鈴木麻揚, 阿部由香(2007). 精神障害者の社会参加効力感尺度簡易版の開発と日米間比較. 平成19年度科学研究費補助金事業.

[その他]

- 阿部由香(2007). 最新輸液管理 輸液治療に関するリスクマネジメント 抗がん薬投与患者へのケア. *Nursing Mook*, 41, 90-97.
- 阿部由香(2007). 最新輸液管理 輸液器材・材料 中心静脈カテーテルの種類. *Nursing Mook*, 41, 39-45.

精神・老年看護学(老年看護学)

[論文]

- 佐藤鈴子, 菅田勝也, 阿南みと子(2007). 人工呼吸器を装着した配偶者の在宅介護を行う中高年女性の睡眠パターン. 日本在宅ケア学会誌, 10(2), 43-50.

[講演・学会発表]

- Anan, M., Sato, R., & Yatsushiro, R. (2007). *The awareness of disabled elders living at home of reasons for living*. ICN Conference, Yokohama, Japan, 27 May-1 June.

国際看護学

[著書]

樋口まち子(2007). 災害看護と異文化理解. NPO 災害人道医療支援会災害看護研修委員会編, グローバル災害看護マニュアル. 102-115, 真興交易医書出版部, 東京.

[論文]

Lee, C., Higuchi, M., Ham, O., Yoo, H., & Lee, K. (2007). Comparison of nursing education, nursing workforce, and public health nursing in Korea and Japan. *Asian Journal of Nursing*, 10, 156-164.

飯田聖子, 樋口まち子(2007). パキスタン人女性の妊娠及び出産に関する意識についての調査研究. (accepted by *Journal of International Health*, publication date to be announced).

Melby, C. S., Dodson, J., & Tarrant, M. (2007). Western nurse educators in Asia. (accepted by *JNS*, publication date to be announced).

Melby, C. (2007). Extending community through collaboration. *Reflections on Nursing Leadership*, http://www2.nursingsociety.org/RNL/1Q_2007/features/feature5.html

[講演・学会発表]

Melby, C., Dodgson, J., & Porter, S. (2007). *Nurses at the forefront: Dealing with the unexpected*. Symposium: An exploration of the cultural, ethical, and pedagogical implications of nursing education occurring on a global platform. ICN Conference, 27 May-1 June.

Melby, C. (2007). *Human understanding and science. A qualitative exploration of the ethical dilemmas of cross cultural teaching*. The 13th Annual Qualitative Health Research Conference 2007, June 20-23.

[研究助成]

樋口まち子(2007). 高齢化に対応した地域医療システムにおける代替医療プログラム開発. 科学研究費補助金萌芽研究(平成17～19年度).

山口しのぶ, 川辺みどり, 樋口まち子, 阿古智子(2007). 開発分野におけるケースメソッドの展開. 科学研究費補助金基盤研究(平成18～20年度).

臨床教員

[著書]

加世田久美子, 中田彩子, 服部久恵, 森真由美(2007). 1年目看護師に対する教育活動の展開. 山西文子監修, 看護実践能力育成のための看護現任教育プログラム. 45-119, メヂカルフレンド社, 東京.

[論文]

岩崎孝子(2007). 乳幼児をもつ共働き夫婦のQOLとスピルオーバーの関係. 国立看護大学校研究紀要, 6(1), 35-42.

[学会発表]

小久保綾子, 八島ふみ, 榎本麻里子, 高遠文恵, 佐野健太郎, 原美穂, 岩崎孝子, 加藤美鈴, 奥坂喜美子(2007). エンゼルケアに対する看護師の積然としない思いと関連要因の検討. 第38回日本看護学会抄録集(成人看護Ⅱ), 49.

村田恵子, 長田泉, 世良喜子, 石川福江, 青木雅子, 内正子, 岩崎孝子(2007). 重症身体障害児の在宅ケアにおける家族機能と影響要因. 家族看護学研究, 13(2), 137.

石川福江, 村田恵子, 長田泉, 世良喜子, 岩崎孝子, 内正子(2007). 在宅重度身体障害児を養育する家族員の燃えつきへの影響要因. 家族看護学研究, 13(2), 138.